キリスト教委員会のHP(http://rakuno-ce.org)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

5シンバルを鳴らし

神を賛美せよ。

シンバルを響かせて

神を賛美せよ。

6息あるものはこぞって

主を替美せよ。

ハレルヤ。

#### 【奨励】「息あるものはこぞって、ハレルヤ」

「ハレルヤ」は旧約聖書の原語のヘブライ語で、ハレ(賛美)+ル(命令形)+ヤ(ヤーウェ、神)=「神を賛美せよ」の意味です。詩編150編はすべてのところで、あらゆる楽器、即ち、すべての物をもちいて、すべての者が神を賛美せよと、分かりやすい詩です。

音楽家でもある宗教改革者のマルティン・ルターは「音楽は人間によって発明されたことではなくて神によって創られ、わたしたちに与えられた最高のプレゼントだ」と言っています。わたしたちは楽器を伴う演奏を聞くと、それぞれ異なる音の調和に驚き、神秘感に幸せになるのです。まるで、それぞれの個性を持つ人々が調和して生きる世界がいかに幸せなのかが表れている気がします。今日がその日でありますように。

## 【オルガンお披露目演奏会(オルガンコンサート)】

本日礼拝後に2024年度に新潟在住の酒井薫さんよりご寄贈いただきましたオルガンの感謝とお披露目を兼ねた演奏会を行います。併せてご出席をお願いします。なお、演奏会の詳細についてはポスターをご覧ください。

【2025年度秋期キリスト教教育強調週間の案内(次回の大学礼拝)】 次回の大学礼拝は2025年度秋期キリスト教教育強調週間の礼拝です。

日時:2025年10月28日(火)10時40分~12時10分

場所:黒澤記念講堂

聖書:コリントの信徒への手紙一 13章4節~13節

主題:「最も大いなるもの、愛――信仰と、希望と、愛、

そのすべてはあなたへの神からの賜物」

講師: 久保木崇先生 (酪農学園大学附属とわの森三愛高校宗教主任)

今回の強調週間は、久保木先生を通して、高大連携の柱でもあるキリスト教主義(キリスト教の精神)と「三愛主義」の要である「愛」について、学生と教職員のみなさんと分かち合う機会にしたいと願っています。

【前回の大学礼拝】2025年10月14日(火)

学生:22名 教職員ほか:9名 合計:31名

# 【大学礼拝週報】2025 年度 第 20 号(後学期第 5 号) 2025 年 10 月 21 日(火)午前 10 時 40 分 略農学園大学 黒澤記念講堂

### 【オルガン披露礼拝】

《礼 拝 順 序》

司 式 小林昭博(宗 教 主 任) 奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員) 讃美指導 相原晴伴(循環農学類教授)

前 奏 すべてのものよ、いざ感謝し、ほめ讃えよ(ケミン=ペティト作曲)

讃 美 歌 讃美歌 21 552番 (若い日の道を)

聖 書 詩編 150 編 1-6 節

祈り

さんび 酪農学園大学聖歌隊

奨励「息あるものはこぞって、ハレルヤ」

析 り 朴 美愛(学園宗教主事)

讃 美 歌 讃美歌 158番 (あめにはみつかい)

報告

後 奏 イエスはわが喜び (バイエル作曲)

### 【本日の聖書】詩編 150 編 1-6 節

1ハレルヤ。聖所で 神を賛美せよ。 神を賛美せよ。 大空の砦で 2力強い御業のゆえに 神を替美せよ。 大きな御力のゆえに 神を替美せよ。 3角笛を吹いて 神を替美せよ。 琴と竪琴を奏でて 神を替美せよ。 4太鼓に合わせて踊りながら 神を替美せよ。 弦をかき鳴らし笛を吹いて 神を賛美せよ。